

# 福井県での栽培を容易にした酒米新品種「山田錦FW1号」を育成した

## 研究概要

「山田錦」は晩生で福井県では低温に遭遇しやすく、草丈が高く倒伏しやすく、粃が穂からバラバラと脱落する脱粒性があり生産が難しい。そこで、それぞれの問題点を解決する変異体を作成し、交配することで「山田錦FW1号」を育成した。本研究では、「山田錦FW1号」の特性の評価を行った。

## 研究成果

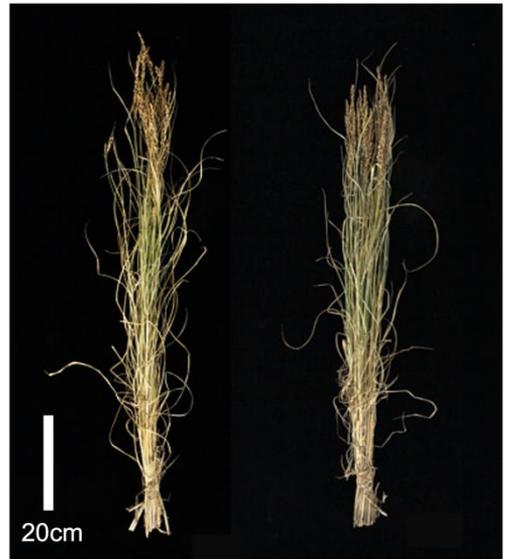
「山田錦FW1号」の栽培特性を評価したところ、山田錦よりも1週間早く出穂し(図1)、草丈は6cm低く(図2)、脱粒性も著しく低下していることが明らかになった(図3)。



山田錦FW1号

山田錦

図1 圃場での出穂の様子



山田錦

山田錦FW1号

図2 草丈の比較



山田錦

山田錦FW1号

図3 脱粒性の比較

## まとめ

「山田錦FW1号」は福井県での山田錦栽培における問題点を克服した新品種となると期待できる。今後は品種登録と県内生産者による生産および実醸造を行いその有用性を確認する必要がある。